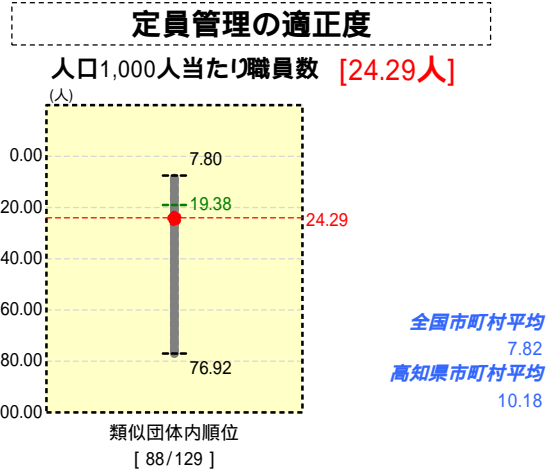
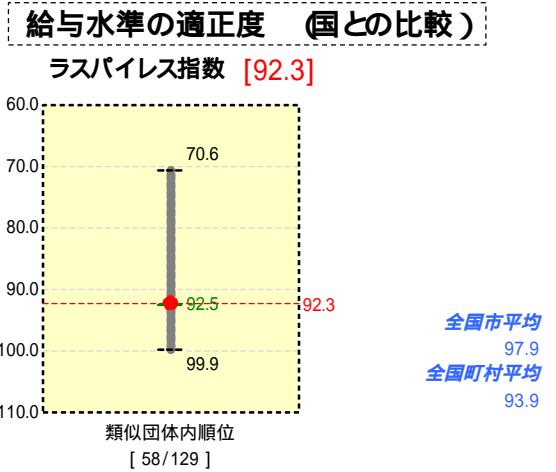
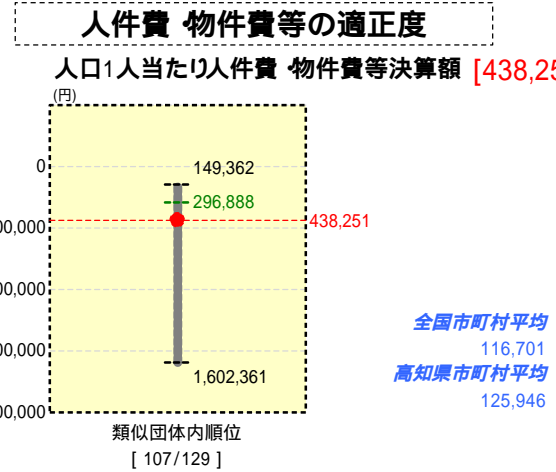
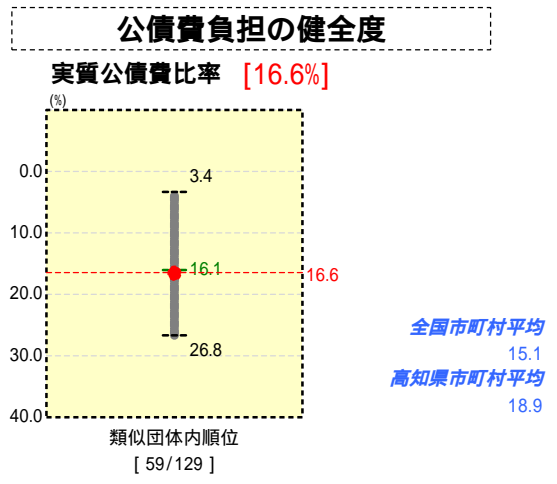
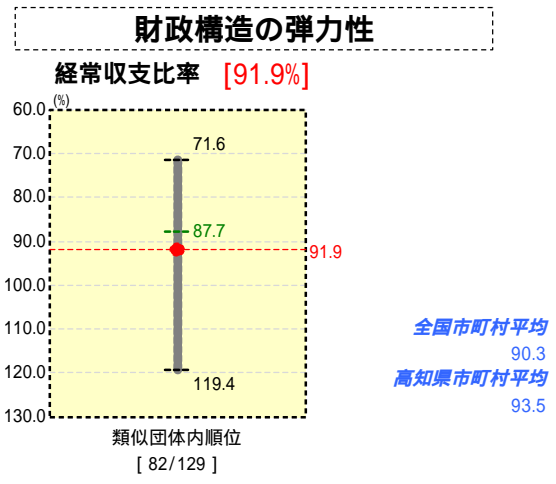
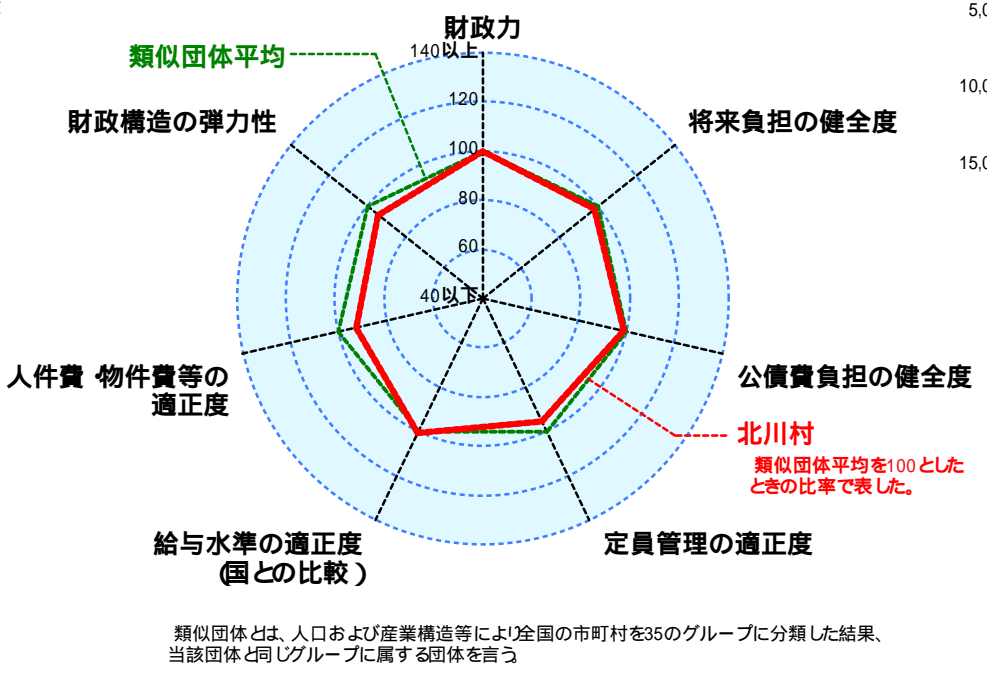
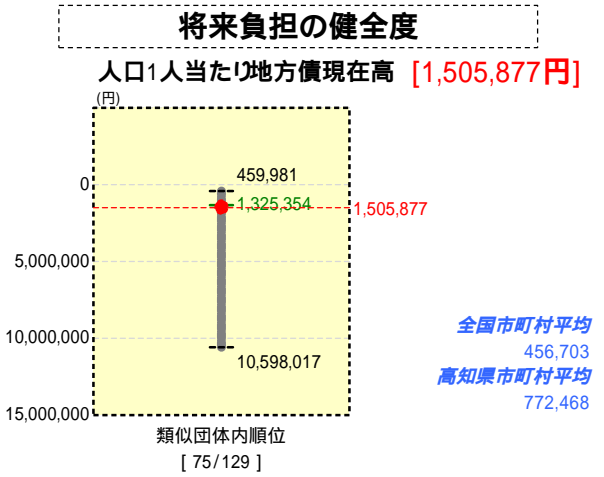
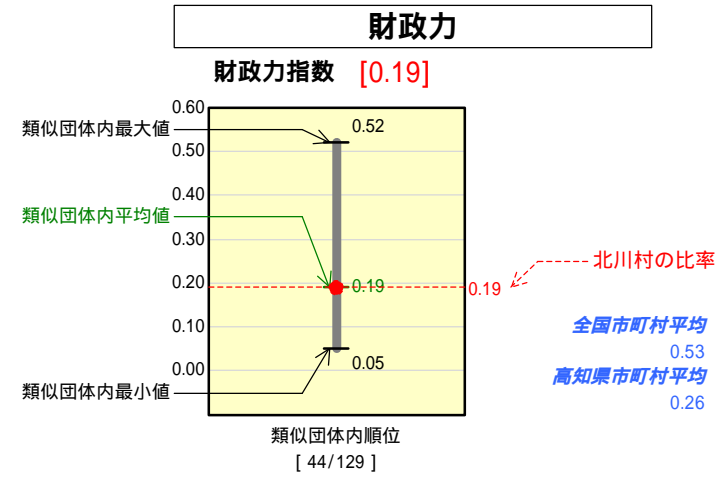


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

高知県 北川村

人口	1,523	人(H19.3.31現在)
面積	196.18	km ²
歳入総額	1,721,315	千円
歳出総額	1,674,713	千円
実質収支	45,840	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力 固定資産税(電源開発株式会社)が多いため、類似団体平均よりは上回っているが、少子高齢化 一次産業の不振等により、減少している。

財政構造の弾力化 人件費(給与表の改訂)の抑制と公債費(繰上償還の実施による)の減少により、昨年より改善されたが、依然として財政の硬直化が続いている。

人件費 物件費等の適正度 平成16年度から開始した地積調査の事業規模を抑制したため、昨年より減少している。

給与水準の適正度 退職不補充による職員の減少や給与表の改訂等により、全体の給与額が低下した。

将来負担の健全度 近年の財政状況の悪化に伴い、ハード事業を抑制し新たな起債の発行を控えるとともに、高金利の起債を繰上償還し地方債残額の減少を図っているが、モネの庭開発時の借入額が大きいため、高い水準で推移している。

公債費負担の健全度 平成16年度をピークに公債費が減少すると共に繰上償還を実施したため、昨年より若干改善した。

定員管理の適正度 県立北川青少年の家の廃止や、退職不補充により職員数が減少したため、類似団体平均より下まった。